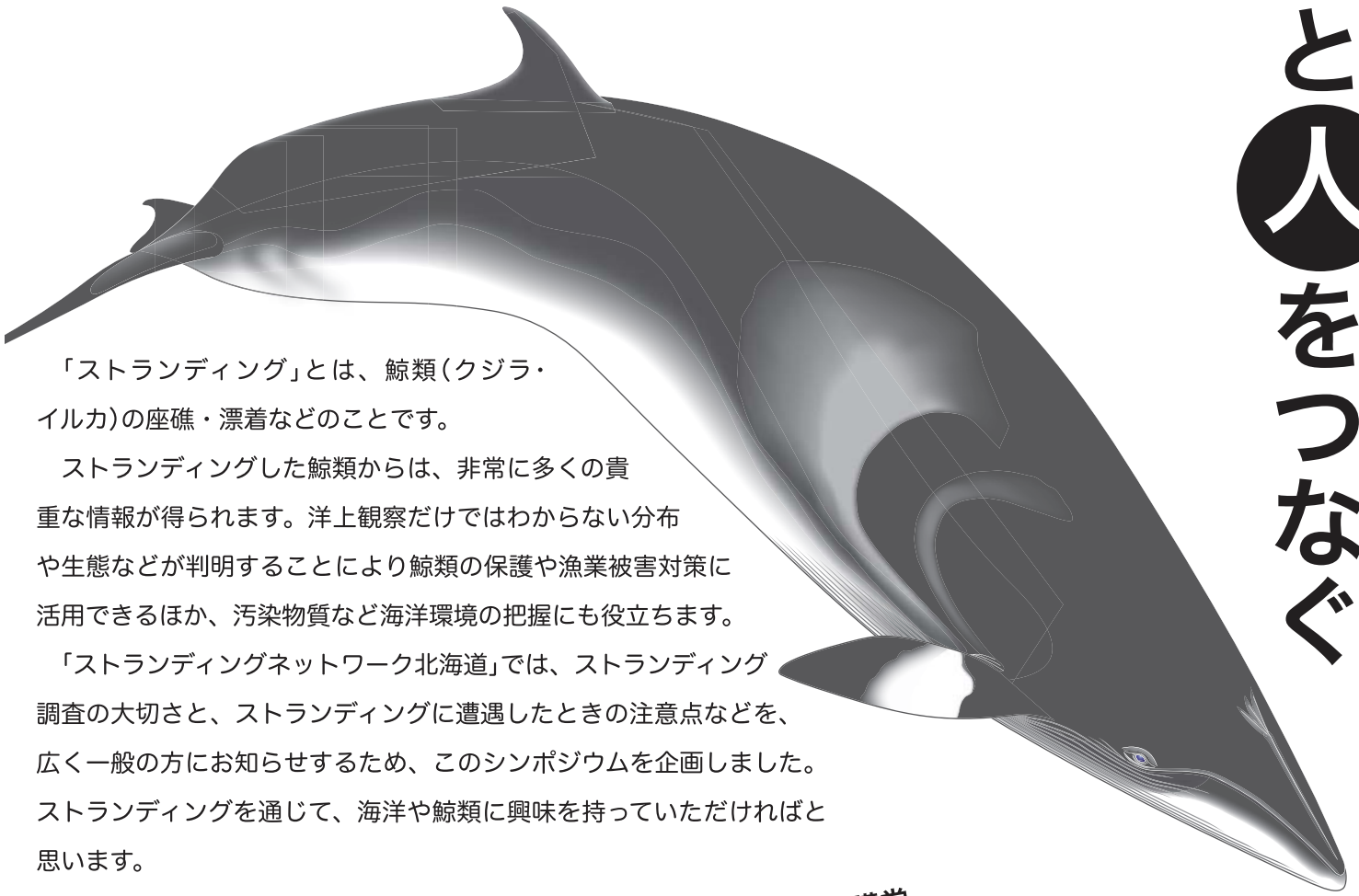


ストランディングが海と鯨と人をつなぐ



「ストランディング」とは、鯨類(クジラ・イルカ)の座礁・漂着などのことです。

ストランディングした鯨類からは、非常に多くの貴重な情報が得られます。洋上観察だけではわからない分布や生態などが判明することにより鯨類の保護や漁業被害対策に活用できるほか、汚染物質など海洋環境の把握にも役立ちます。

「ストランディングネットワーク北海道」では、ストランディング調査の大切さと、ストランディングに遭遇したときの注意点などを、広く一般の方にお知らせするため、このシンポジウムを企画しました。ストランディングを通じて、海洋や鯨類に興味を持っていただければと思います。

2007
9/1 土
13:00~16:00

- ◆会場：北海道開拓記念館 講堂
- ◆聴講無料
- ◆できるだけ事前にお申し込みください
- ◆申込先：北海道開拓記念館 **011-898-0456**まで



2004年、白老に打ち上がったアカボウクジラの調査

- ◆主催：ストランディングネットワーク北海道
- ◆共催：北海道開拓記念館
- ◆協賛：(財)北海道新聞野生生物基金

お問い合わせ
ストランディングネットワーク北海道 (代表 松石隆)
北海道大学大学院水産科学研究院 松石研究室
TEL...0138-40-8857 ホームページ...<http://snh.seesaa.net>

シンポジウム「ストランディングが海と鯨と人をつなぐ」

9月1日(土) 13:00~16:00 会場：北海道開拓記念館 講堂 参加費：無料

プログラム

- ◆主旨説明 ————— 松石隆 (北海道大学 准教授)
(ストランディングネットワーク北海道代表)
- ◆「鯨類のストランディングとその取り扱い」(仮題) ————— 石川創氏 ((財)日本鯨類研究所 調査部次長)
- ◆「ストランディングからわかること」 ————— 山田格氏 (国立科学博物館 グループ長)
- ◆研究報告「鯨類のトキソプラズマ症」 ————— 小俣吉孝氏 (帯広畜産大学 教授)
- ◆研究報告「ストランディング骨格標本と化石標本の比較」 ————— 澤村寛氏 (足寄動物化石博物館 館長)
- ◆「北海道でのストランディングの現状とストランディングネットワーク」 — 松石隆
- ◆総合討論



今年8月1日、苫小牧の海岸に漂着した体長13mのクジラ。
迅速な通報により、その日のうちに、世界的に注目される希少な種類【コククジラ】と判明しました。早速、翌日から2日間にわたって解剖調査が行われました。



沿岸でくらすネズミイルカはしばしば定置網などで混獲され、命を落とすこともあります。(桜井憲二氏撮影)
このような機会を利用して行動を研究することで、混獲防止にも役立つデータが得られます。

大好評開催中！ 北海道開拓記念館 第63回特別展

鯨
くじら

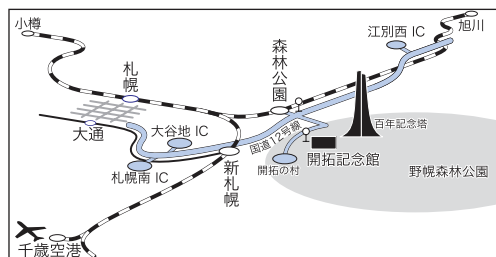
2007
7/20_金~10/8_月

8/14までの予定が
好評につき

プレゼント期間を、急遽延期!!
先着10名の入場者にミンククジラの「鯨ヒゲ」さしあげます!
(8月中は毎日、9・10月は土・日・祝のみ)

- 開館時間 9:30~16:30 (入場は16:00まで)
- 休館日 月曜日 (ただし会期中の祝日は開館)・9月18日(火)
- 観覧料 一般450円 高校・大学生150円 小・中学生70円
- 交通

新札幌バスターミナルからバスで
のりば ⑩ JRバス「開拓の村行き」→ ♀(記念館入口)
※時間が合わないときは以下の路線をご利用ください
のりば ⑨・⑩・⑫ JRバス・夕鉄バス 大麻・野幌・江別 方面行き
→ { JRバスなら ♀(開拓の村入口) } → 徒歩(約15分)
→ { 夕鉄バスなら ♀(森林公園入口) } → 徒歩(約15分)
または、JR森林公園駅から徒歩(約20分)



特設携帯サイトあり!
交通などのご案内をしています。
www.hmh.pref.hokkaido.jp/m/kujira
または右のQRコードで!



【北海道開拓記念館】は、
北海道立の総合歴史博物館です。
〒004-0006
札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2
011-898-0456
www.hmh.pref.hokkaido.jp